

東亜建設工業は建設業を営む者の使命として、
高品質で強靱な建設構造物を
提供することにより、
豊かで便利な社会、安心・安全な生活、
持続性のある多様な自然、
世界とのつながり、を実現していきます。



質・外観ともに『日本最大級のマリーナ』へ

平成29年度センター地区大型艇係留栈橋改修他工事

神奈川県 発注者:横浜バイサイドマリーナ株式会社



神奈川県横浜市では、「平成29年度センター地区大型艇係留栈橋改修他工事」が完成しました。

建造から20年以上経過し老朽化した木製の浮栈橋を解体・撤去し、天然木材に近い質感をもつ人工木材と海洋環境において耐久性の高いアルミフレームを用いた浮栈橋を新設した工事です。細部の寸法にこだわった係留設備、近年増加傾向にある大型艇に対応した栈橋レイアウトなど、日本最大級のマリーナにふさわしい質・外観を誇る施設となっています。

首都直下地震に備えた既設水門の耐震対策

芝川水門耐震対策(H25)工事

埼玉県 発注者:国土交通省 関東地方整備局

荒川下流域は、人口・産業が集中したゼロメートル地帯が広がり、堤防が決壊し荒川が氾濫した場合、壊滅的な被害の発生が想定されます。芝川水門は、荒川と芝川の合流点、荒川左岸19.7kmに位置する2門式の水門であり、荒川の洪水流が芝川へ逆流することを防ぐ目的で設置されています。1971年の完成から40年余が経過し、洪水時の被害を軽減する機能に加え、首都直下地震に対しても機能を保つように耐震対策を実施し、流域の安心・安全を確保します。



水と緑に囲まれた自由曲面屋根が特徴的な火葬施設

(仮称)川口市火葬施設建設工事

埼玉県 発注者：埼玉県川口市



埼玉県川口市では、「川口市めぐりの森」が完成しました。

本工事の設計は伊東豊雄建築設計事務所が手掛け、「吊いの空間を豊かにする建築」を具現化しています。建設地は首都高速道路の川口パーキングエリアと新たに整備される公園に隣接し、豊かな自然環境に溶け込む施設となっています。

施工上、最大の課題は建物を取り囲む自由曲面屋根の仕上げでしたが、3次元データを基に特殊型枠を製作し、現場打ちコンクリートの表面精度を徹底して確認することにより、高品質な施工を実現しています。

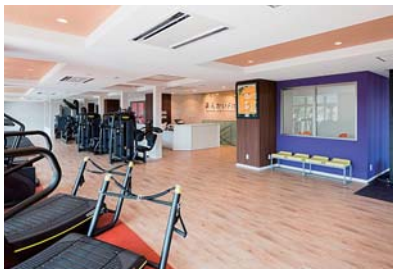
医療・介護・福祉をすべてサポートする総合医療施設の建築工事

医療法人社団青山会(仮称)複合施設まんかい新築工事

兵庫県 発注者：医療法人社団 青山会

兵庫県三田市に、医療法人社団 青山会の総合医療施設「まんかい」が完成しました。クリニック、リハビリテーション、保育、病児・病後児保育、発達児童支援、コミュニティカフェを備えた複合施設として、地域のお子様から父母の支援、高齢者の介護まで、幅広く対応できる機能を有しています。

住宅地内での施工ということもあり、地域住民への工事中の環境配慮という面において、特に注力して工事を行いました。



ベトナム日系企業の自動車用部品倉庫、トレーニングセンター兼事務所

いすゞベトナム オートケアセンター新設工事

ベトナム社会主義共和国 発注者: ISUZU VIETNAM Co., LTD

ベトナム社会主義共和国では「いすゞベトナムオートケアセンター新設工事」が完成しました。

この施設は、ホーチミン市の北部に位置するクチ区タンフーチュン工業団地に建設された、いすゞベトナム社の自動車用部品倉庫、トレーニングセンター兼事務所です。

この施設の機能は、部品の保管、現地ディーラー従業員のトレーニング、難度の高い修理、の3つからなります。倉庫には6,000種類の部品の保管し、トレーニングセンターでは日本人トレーナーがディーラーのメカニックを教育・指導し、修理施設では現地ディーラーでは対応できない修理を実施しています。本施設は、車両販売後の確実なメンテナンス体制を整え、顧客満足度を高めるための拠点となることが期待されています。



日本の技術を活かした 水産施設の改修プロジェクト

セコンディ水産業振興計画

ガーナ共和国 発注者: ガーナ共和国港湾局

ガーナ共和国では「セコンディ水産業振興計画」が完成しました。

本工事は、日本政府からの無償資金協力により、ガーナの2大漁港の一つであるセコンディ漁港を大幅に改修するプロジェクトです。

主な工事内容は、漁船などを係留する岸壁の延長・拡幅、製氷施設や管理事務所の増設、荷さばき場の舗装などです。同漁港では、漁船の混雑や氷の供給不足による鮮魚の品



質低下が課題でしたが、日本の技術を活かした施設が整備されたことで、漁業関係者の作業効率が大幅にアップし、新鮮な魚が速やかに地域住民に供給できるようになっています。今後、ガーナ共和国の水産業がますます発展することが期待されます。



社会とのつながり・地域への貢献

第26回国際海岸清掃活動への参加 (シンガポール)

アメリカにある非営利団体SEA CLEANの呼びかけにより、世界70カ国で毎年9月第3土曜日に海岸清掃活動が実施されています。これには毎年50万人以上の人々が参加し、ガラス・プラスチック等のごみを回収、回収したごみの量を計り、世界中で集まったごみの量をウェブサイトで公開しています。

昨年シンガポールでは8カ所の海岸で活動が行われ、タナメラフェリーターミナル沖防波堤新設工事区域の海岸においても活動が行われました。当日撮影した集合写真(上段)の背面が現場海域で、当社所有の杭打船鶴隆が写っています。

当日の参加者は95人、当社シンガポール事務所から15人がこの活動に参加し、最終的に290kgのごみの量を回収することができました。

海岸清掃活動に参加する人がある一方、何も考えずにゴミを捨てる人もいます。それらの人々にこの活動をどこかで知ってもらうことで、心境に変化をもたらし、最終的にはゴミが減って環境改善につながることを皆が期待しています。また海岸清掃活動にボランティアとして身をささげている上記団体職員の環境意識の高さに感銘を受けた1日でした。

詳細については下記 URL を参照ください。

<http://coastalcleanup.nus.edu.sg/results/2017/tm-tm7-rws.htm>



創立者の思いを共有する社会実習



当社創業者である浅野総一郎が1920年に創立した浅野学園(横浜市神奈川区)では、中学1年生を対象に創業者および初代校長 水崎基一について学ぶ創業者教育を行い、その一環として2018年2月に当社の安善ヤード(横浜市鶴見区)を訪れました。



当日は複数の班に分かれた6クラスの生徒を、当社社員が敷地内に設置されている浅野総一郎の銅像やドライドックへ案内したほか、技術研究開発センターの実験棟内で、現在行われている研究や実験の説明をしました。生徒の皆さんはそれぞれの場所で、事業家としての浅野の一面を知るエピソードやものづくりの現場ならではの話に熱心に耳を傾けていました。見学終了後、「浅野総一郎の功績を知ることができました」、「ドックの迫力が予想以上、間近で見る船は大きくて驚きました」、「また訪れる機会があるといいなと思いました」などの感想が寄せられました。